

1 教科等名 総合的な学習の時間

2 単元名 武蔵野市をよりよく

3 単元の目標

武蔵野市民科
資質・能力

○知識・技能の習得	①武蔵野市のよさに気づき、その特徴について理解する。 ②課題に沿って必要な情報を集め、取捨選択する。	A2 B2 C1
○思考力・判断力・表現力等の育成	①武蔵野市のよさと課題を様々な立場から捉え、よりよくするための改善案を考える。 ②学習したことを伝える方法を目的や相手に合わせて考え、工夫して伝える。	A2 B3 C2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	①武蔵野市のよさについて、興味や関心をもち、課題を見つけて進んで調べようとする。 ②人との主体的な関わりを通して考えを広めたり、深めたりする。	A4 B1 B4

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	武蔵野市のよさとは何か、身近な場所をもとに考える。	2	・武蔵野市のよさについて考える。 ・思考ツールなどを使って、自分たちの考えを可視化し、多角的な視点で考えられるようにする。	
	武蔵野市のよいところについて、情報を収集する。	6	・パンフレットを集めたり、実地調査をしたり、武蔵野市に関わる人にインタビューしたりしながら情報を収集し、蓄積する。	国語 「きいて、きいて、きいてみよう」 「みんなが使いやすいデザイン」
	収集した情報をもとに、プレゼンテーションでまとめる。	4	・収集した情報をどのように活用するか考え、相手に効果的に伝わる表現方法について話し合い、まとめる。	
	作成したプレゼンテーションをもとに発表し、意見や感想を伝え合う。	3	・各班のプレゼンテーションの発表をもとに、多角的な視点で武蔵野市を捉えて、互いに意見を交流する。	道徳 ・伝統と文化の尊重 ・国や郷土を愛する態度
小単元 ②	1つ目の課題で収集した情報から「武蔵野市の課題」について考える。	2	・武蔵野市の課題について考える。 ・思考ツールなどを使って、自分たちの考えを可視化し、多角的な視点で考えられるようにする。	
	小グループでテーマを決めて、課題について具体的に調べる。	3	・どのようなところが課題なのか、具体的に考え、根拠となる情報を収集し、蓄積する。	
	調べた情報について整理し、どのようなことができるかを考える。	3	・「自分たちができそうなことはなにか」話し合う。	国語 「よりよい学校生活のために」 道徳 ・規則の尊重
小単元 ③	小単元②で考えたことをもとに、自分たちが解決したい課題を設定する。	2	・武蔵野市の課題の中から、「自分たちにできそうなこと」とは何か、話し合っ計画を立てる。 ・思考ツールなどを使って、自分たちの考えを可視化し、多角的な視点で考えられるようにする。	
	自分たちの考えた解決方法を実現するために必要な様々な情報を集める。	7	・課題解決に向けて自分たちができることは何か考える。 ・詳しい人に話を聞きに行ったり、実地調査をしたり、課題に関わる人に協力を依頼したりしながら情報を収集し、蓄積する。	
	これまでの学習で収集した情報をもとに、実践に向けて計画する。	10	・収集した情報をどのように活用するか考える。 ・どのように発信したり実行すればよいのか、表現方法について話し合い、まとめる。	
	計画した活動を発信したり、実行したりする。	3	・計画を実行した後は、自分たちの活動を振り返り、これまでの学びを振り返る。	

合計時数 45 時間